

TOKAI ミニコミ

合同会社ひだか
CEO

竹内 蘭氏



農林水産省 東海農政局

消費・安全部 部長

島村 知亨



農林水産省 東海農政局

消費・安全部 部長

島村 知亨



～こんな話を聞きました～

- ディスカバー農山漁村の宝
- 町のシンボルが消えていく
- ひょうたんは古代のペットボトル?
- ひょうたんの課題を魅力に
- もう一度、ひょうたんの町に

島村：東海農政局は、食や農に関わる有識者などの方にお話を伺い、意見交換の中でお聞きした幅広い知識・情報を「TOKAI ミニコミ」としてまとめて発信しています。



ディスカバー農山漁村の宝

まずは、令和4年度東海農政局「ディスカバー農山漁村の宝」の選定、おめでとうございます。



竹内さん：ありがとうございます。ずっと瓢活（ひょうたんの良さを広める活動）を続けてきてやっと一つ報われた感じです。



選定に当たっては、ひょうたんの新たな魅力を発信し、町のシンボルであるひょうたん文化の復活・検証に寄与されたことなどが評価されたと存じておりますが、養老町とひょうたんの関係についてお聞かせ願えますか。



ディスカバー農山漁村（むら）の宝とは「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図ります。

町のシンボルが消えていく

その昔、「養老の滝の水がお酒にかわり、親孝行息子がひょうたんに入れて持ち帰ったところ病気のお父さんが元気になった」という「養老の滝伝説」の話を元に、町のシンボルとしてひょうたんを掲げ、かつては土産物としての販売が盛んで、ひょうたんを栽培する農家も多かったんです。



養老町の町章にも、ひょうたんがデザインされています。

■養老町町章

カタカナで「ヨーロー」を表し、孝子が霊泉で酒をくんだと言われる瓢箪（ひょうたん）の形にデザインしたものです。

ひょうたんは養老町のシンボルなんです。



一時期、町を離れて、養老町に戻ってきた時に、養老町はすごく良いところだと思ったのですが、昔と比べ、すごく寂れた印象がありました。



お土産屋さんが販売しているひょうたんですら、地元で生産されたものではないものがあると知り、ひょうたんが養老町のシンボルなのに、町のシンボルの農産物すら守れないのかとすごく残念に思いました。

ひょうたんは古代のペットボトル？

ひょうたんのどういうところに惹かれたのでしょうか。



母が経営している喫茶店の常連さんから、ひょうたんの現状や課題を聞くうちに、自分でもひょうたんを栽培したり、加工品を作りたくなって、やってみたら魅力にはまりました。

ひょうたんの歴史は古く、縄文時代から栽培されていて、人が水を持ち運ぶ最初の器の一つで、江戸時代ぐらまで日用品として使われていました。

ひょうたんは、今でいうペットボトルのような存在だったんですね。



歴史的な魅力に加え、二つと同じものは無いという形状、軽くて丈夫で加工品の素材としての魅力もあります。

今、取り組んでいる中で課題はありますか。



高齢化等を理由に、養老町でひょうたんの栽培をしている農家が減っていることです。今、業として栽培しているのは3戸です。

そのため、原材料となるひょうたんの確保のために、昨年から飛騨市古川町の生産者にひょうたんを委託栽培してもらっています。

今まで生産者の方をお願いしていたひょうたんを水に浸けて腐らせて、中身や種を取り除く作業が面倒だということで、生のままで仕入れるという条件で、栽培に協力してもらっています。

この大量の生のひょうたんをどう効率良く処理するかを模索しています。

どのような方法を試されましたか。



今、圧力釜を使って、この中身や種を取り除く作業が出来ないか試していて、家庭用の圧力釜で少量なら成功しています。大量に行うとなると大型の圧力鍋などの設備に掛かる費用などが課題です。

圧力釜を使う方法は、ご自分でお考えになられたのですか。



この方法は、大垣養老高等学校の食品科学科にひょうたんの加工を教えに行った際に、高校でひょうたんの処理に圧力釜を使っていると聞いて、自分でも試してみようと思いました。



ひょうたんの課題を魅力に

他に、課題はありますか。



世間のひょうたんのイメージは、茶色い房をつけて座布団に置いてあるようなイメージだと思います。

こうしたひょうたんの飾り物を作るためには、形の整ったもの、傷の無いものが必要ですが、農産物なので、思い通りの形や数を生産することは出来ません。その基準に合わないものは、二束三文で買い叩かれてしまいます。



装飾前のひょうたん



ひょうたんのランプシェイド

また、若い人は、既存のひょうたんのお土産を買っても喜びません。若い人にアプローチするにはどうしたら良いか考えて、色を塗ったり、ランプシェイドなどにしたりすることで、基準に合わなかったひょうたんも活用できると思いました。



それで、何か良いアイデアを思いつきましたか。



その一つが「ひょうたんバーバパパ」です。バーバパパは自由に変形するキャラクターであるため、これまで商品にならなかったひょうたんが使えます。



©2022 A.T.&T.T.

ひょうたんバーバパパ (ヨーローヒョウタン工房にて)



バーバパパはフランス発のキャラクターで公式ライセンスを取得し製造販売しています。海外でも人気があるので、インバウンドや海外展開も期待しています。

バーバパパは、お花のように土から生まれたキャラクターで、バーバパパの作品では、実は一貫して自然環境や動物を守ることの大切さを訴えています。

天然素材であるひょうたんが使われているグッズがバーバパパの理念と合致していることから、フランス本社での評判も良いと聞いています。

工房に来られたお客さんの反応はいかがでしょう。



若い方が、ひょうたんの加工品を喜んで買ってくれるようになりました。



ひょうたん猫ランプ (ヨーローヒョウタン工房にて)

竹内さんの作品が購入できるのは、このお店だけですか。



ヨーローヒョウタン工房 (養老公園楽市楽座内)



養老公園のこのお店の他には、JR岐阜駅の構内のギフトショップ、養老町のゆせんの里のお土産のコーナー、大垣市上石津町のC A F Eあめんぼの直売所、道の駅アルプ飛騨古川で購入できます。



もう一度、ひょうたんの町に

どんどん、瓢活が進んでいらっしゃいますが、今後の展開はどのようにお考えですか。



もう一度、養老町でひょうたんに関わる人を増やして、名実ともにひょうたんの町にしたいと考えています。そのためには、まず、自分が社員を雇えるくらいになって、後が繋がるようになればと思っています。



それから、今年(令和4年)、最年少で、特定非営利活動法人 全日本愛瓢(あいひょう)会の理事に就任しました。同会は、秋篠宮皇嗣殿下が、名誉総裁をされております。現在、会員700名で1000人を目標に普及活動をしています。

年会費3000円でひょうたんの全国大会に参加できます。興味のある方は、是非、ご入会いただければと思います。

特定非営利活動法人全日本愛瓢会とは

本法人は、瓢箪の栽培・加工技術の普及指導にあたり、瓢箪文化芸術の向上に関する事業を行い、人々の充実した余暇活動、まちづくりの推進及び国際交流に寄与することを目的としています。

全日本愛瓢会Webサイトより



(対談日：令和4年11月17日養老公園 楽市楽座内ヨーローヒョウタン工房にて)



©2022 A.T.&T.T.

私もバーバパパとママを購入しました